

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和6年3月29日
タイトル	本年度を振り返って
水土里レポーター名	水土里ネットほっかい 西村 勇二

当方からの水土里レポートの発信は水土里ネットほっかい区域内の地域とのつながりのある行事を主としてレポートの発信を行っています。本年度の発信ですが、昨年度より新型コロナウイルスの影響は少なくなったものの本年度も縮小しての活動となっております。

本年度レポートについては岩見沢市北村小学校の「田んぼの学校」、砂川市での施設見学会、そして本年度より再開しました北海幹線用水路ウォーキングについて発信させていただきます。

岩見沢市北村小学校は、校舎に隣接した学習田を利用し、3年生から6年生までの総合的な学習の時間に稲作体験学習を年間で位置づけた『米Myスタディー』を行っていて、岩見沢市の基幹産業である農業に誇りを持ち、郷土を見直し愛する心が育つことをねらいとしています。本年度より、大豆・かぼちゃの栽培も始まり、この活動も新たな展開が見込まれます。



砂川市での施設見学会は砂川小学校の社会科の授業の中で地元の産業についての理解を目的に行われています。教室でまず、当区の主要施設である北海幹線を映像とパネルを用いて児童に知ってもらい、その後ペンケ水路橋・北海頭首工にて北海幹線を実感してもらいました。見学前の教室での映像の中でも紹介されている箇所を見学するため児童の皆様には好評で数多くの質問があり興味を持ったようです。

最終見学場所は小学校の近くにある親水公園。ここは用水路をパイプライン化しその上の用地を公園化し憩いの場としているものです。児童も身近なところではあるのですが、自分の足元の下に用水路が流れていることは知らず、ここでも用水路に興味をもっていただけましたようです。



最後に4年ぶりの開催となりました北海幹線水路ウォーキングです。北海幹線水路が平成16年10月に北海道遺産、平成18年2月に疏水百選に選ばれたことを契機に平成18年より毎年7月末の日曜日に美唄市光珠内町で開催しています。

募集方法を当区ホームページのみでの募集に限定しましたが、124名と多くの参加をいただきました。

3コース（10キロ、7キロ、3キロ）の中から参加者に選んでいただき心地よい汗をかきながらウォーキングを楽しんでいただくとともに、会場本部では農業農村事業の啓発パネル展示、コース上は施設の説明パネル、お米クイズを設け、ゴール後には抽選会と多くの皆様に喜んでいただいております。この大会を農業用水路の役割や重要性、農業農村の様々な機能や役割を幅広く一般の人たちへ知っていただく良い機会になればと考えており、今後も参加者からも継続してほしいとの意見が多数であることは喜ばしいところであります。



令和6年度についても、地元住民の皆様へ農業農村の重要性や水土里ネットの役割について理解いただけるような活動が多く行えるような1年であることを祈念して、本年度総括のレポートとさせていただきます。